

2 新規就農者を激励

1/20

地域交流センターともべで笠間地域新規就農者激励会が開催されました。この激励会は、新規就農者が地域に溶け込み、安心して農業をスタートできるようエールを送る取り組みで、県内では初開催。

笠間市・城里町で令和2年度に新規就農した皆さんに、笠間地域就農支援協議会から激励状が手渡されました。



激励会に出席した皆さん

3 災害時等における消毒液類提供に関する協定を締結

1/28

市は明利酒類株式会社（水戸市）と「災害時及び感染症等流行時における消毒液類の提供に関する協定」を締結しました。この協定により災害時や感染症などが流行した際に、明利酒類で生産されている消毒液を優先的に提供していただく連携体制が構築できました。

また、協定に合わせて市に消毒液を寄贈いただきました。市役所等に設置し活用させていただきます。



左から、明利酒類(株) 常務取締役 加藤さん、山口市長

4 2年ぶりの開催、笠間市駅伝大会

1/16

笠間芸術の森公園に県内から女子38チーム（市内9チーム）、男子37チーム（市内10チーム）が集結し、第59回県下中学校交歓笠間市駅伝大会が開催されました。

今年は男女ともに北茨城市立中郷中学校が見事優勝。市内の学校は入賞には届きませんでしたが、日々の練習の成果を精一杯発揮し、タスキをつなぎました。



1 解体予定の建物で 実戦さながらの救助訓練

1/18

市消防本部が、解体予定の建物を利用した救助訓練を行いました。

訓練は、“大規模地震で建物が倒壊し、屋内に人が取り残されている”という想定で実施。施錠されたドアをエンジンカッターで解放したり、電動ドリルやハンマーで壁を打ち碎いたりなどの作業を行いました。

建物を利用した訓練はとても貴重な機会と、救助隊員約20名は一つひとつの手順を確認しながら、実戦さながらの面持ちで臨みました。



訓練の様子



駅伝大会の様子

7 障がい者が自立できる社会へ

障がい者の雇用確保や自立支援を目的に、今年度から障害者就労施設の方々に市公用車の洗車・清掃をお願いしています。

これまで市では、法律に基づき市の業務の一部を障害者就労支援施設等に依頼してきましたが、コロナ禍で仕事が減少傾向にありました。そこで、笠間市障害者地域自立支援協議会で検討され、公用車の洗車・清掃をモデル的に実践することになりました。

障がいを持っている方が、就労し経済的に自立できるよう、市では今後も支援を行っていきます。



公用車の洗車を行う「就労支援センターかつらぎ」の皆さん

8 笠間工芸の丘が 商標登録されました

笠間芸術の森公園内にある「笠間工芸の丘」が、令和3年11月29日に商標登録されました。

笠間工芸の丘株式会社の福永信一代表取締役は、就任した4年前から、笠間のブランディングと、笠間産商品や笠間焼作家の知的財産保護のための商標登録を考えていたそうです。今後は、現在も取り組んでいる「くりの菓」シリーズの展開と国際登録を進めていきたいと考えているそうです。

笠間のブランド力向上に向けた取り組みが市内で進んでいます。



笠間工芸の丘(株)代表取締役 福永さん

5 ペットボトル「水平リサイクル」 笠間市でスタート

1/19

市とサントリーグループが、ペットボトル再生に向けた協定を締結しました。ペットボトルの再生は、市内に拠点を置くジャパンテック株式会社が、市で収集される年間約80トン(500mlペットボトルで約400万本分)がすべてサントリー製飲料のペットボトルとして再生されます。

これは「水平リサイクル」という取り組みで、脱炭素社会の実現と循環型社会の形成に向けた大きな一歩です。ペットボトルの回収にご協力をお願いします。



左から、ジャパンテック(株)藤原取締役社長、山口市長、サントリーホールディングス(株)井床常務執行役員

6 出前講座を通して 道徳性を高める

1/19・26・2/2

笠間高校の1年生を対象に1月19日から毎週水曜、3週にわたって市職員等が講師となるまちづくり出前講座を行いました。

今回初めての取り組みでダイバーシティ社会や選挙、防災など、6つの出前講座のメニューから生徒が希望する講座を選択するかたちで開催。企画した笠間高校の鴨志田先生は「学びを学校の中だけで完結するのではなく、地域と連携・協働していくことで、生徒たちの豊かな心を育てることにつながります」と話していました。



出前講座の様子



笠間市まちづくり
出前講座